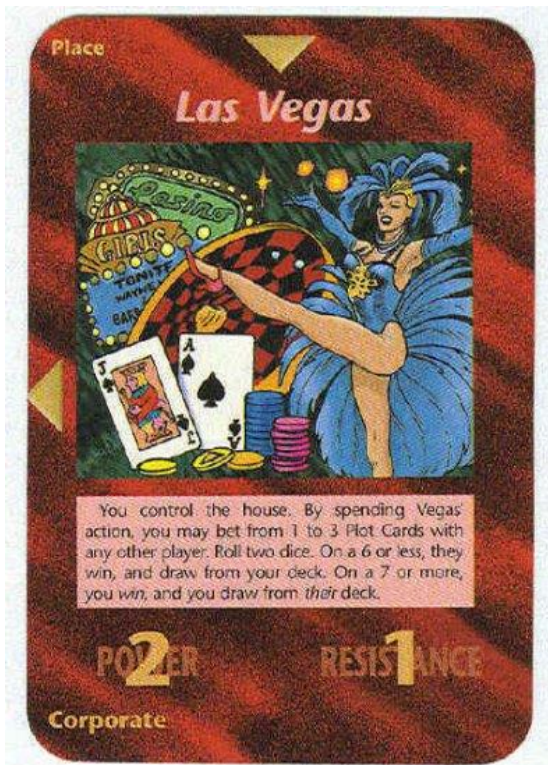


ラスベガス心理作戦の驚くべき真相

Jason Aldean（主役歌手）の入れ墨とイルミナティ・カード

【訳者注】SOTN の人たちこそ、ノーベル平和賞に最も値するだろう（これが本当に価値あるものと仮定して）。彼らは歴史的統合能力と、暴露迫及能力を併せ持っているだけではない。NWO 陰謀団の手口を分析し説明して、どう対応すればよいか、戦闘の方法を示唆している。彼らは“有名人文化”とは対極の、人間の本当の文化の代表者である。

ラスベガス事件のイルミナティ・カードが存在し、それが主演ミュージシャンの入れ墨に一致することは、この事件計画の重要性が 9・11 くらいに意識されていることの証拠である。あれは、「パール・ハーバー規模のものが必要」とされて、計画実行された。（9・11 の数年前から、ツインタワーへの衝突炎上と、ペンタゴンへの攻撃の、2 枚のイルミナティ・カードがあったことはご存じであろう。）彼らイルミナティが大規模テロをやるときには、何らかの形で予告しなければならない、それが掟になっていると言われる。彼らは数値やシンボルを重要視する。J=10（10 月）、A=1（1 日）など。また Jason Aldean の挙動の分析から、芸能人一般の悲しい定めの説明に入っていくところなど、優れている。



必見ビデオ「ジェイソン・オルディーンの入
れ墨とイルミナティ・カードが一致」

<http://stateofthenation2012.com/?p=85570>

State of the Nation

October 5, 2017

ラスベガス心理戦を解き明かす “50SOPO” による超探偵わざ

ラスベガス大量射殺についてのメディアの資料を読んだり見たりした最初の瞬間から、SOTN のスタッフ全体が、ある特定の出来事に非常に驚いた。

アメリカ人カントリー・ミュージック歌手 Jason Aldean は、彼の最後の歌を歌っていたが、銃撃が始まると、突然、不思議なことに舞台から姿を消す——そのビデオを我々はいくつも見た。現在このビデオを見ていない人は、いないだろう。

ビデオ：「ジェイソン・オルディーンが、ラスベガスの Route 91 Harvest で銃声が始まるや、急いで舞台から逃げる」 <http://stateofthenation2012.com/?p=85483>

これを見ていて、どうしても不思議だったことは：——

- ・ジェイソンは一言も物を言わなかった。
- ・ジェイソンは一言も警告を発しなかった。
- ・ジェイソンは舞台を走り去り、その後、再び音沙汰がない。

Jason Aldean とは誰か？ そして、このニセ旗心理戦での彼の役割は何だったのか？

“50 Shades Of Pissed Off” (と名乗る人) による次の記事は短いかもしれない。しかし、そこにはデータと、目を開かせる情報の放射能が、詰まっている。それはまさに**必読文献**である——もしこれらの背後の作戦を、本当に裏側から見たらどうなるのか、正確に理解したければ。

「イルミナティ・カード・ゲームがベガス虐殺を予言していた： Jason Aldean はあらかじめ知っていたのか？」 <http://themillenniumreport.com/2017/10/illuminati-card-game-predicted-vegas-massacre-did-jason-aldean-have-foreknowledge/>

ここに引いたリンクの仰天すべき内容の理解から、2 つの明らかな結論が導かれるだろう。

1つ、Jason Aldean は、この（現在進行中の）心理作戦とニセ旗大量射殺に、なんらかのやり方で使われた。

2つ、Jason Aldean が、この CIA の指揮するラスベガスのブラック作戦に、自分が参加していることを知らなかったとは、考えられない。

CIA と音楽産業

音楽産業という企業全体が、ほとんど完全に CIA にコントロールされているということは、今では常識である。これは歴史的な権威ある記録文書に満ちていて、いかに CIA が、ずっと昔から、南カリフォルニアの防衛省と歩調を合わせて、Laurel Canyon の音楽文化や有名人社会に、完全に侵入していたかを証明している。マイク・ウィルソンの、The Beach Boys' の人気の絶頂にあったときの、有名な精神的崩壊も、このロックンロール革命の最も初期さえ支配した、CIA のマインドコントロールの影響があったと、しばしば言われる。

音楽は歌詞とメロディーからなっている。歌詞は言葉でできている。そして、**すべての公的に決定された言葉は、情報の一形態と考えられている**。歌詞は、強力な楽曲と結合したとき、ベトナム戦争のようなことを、やめさせるように、人々を動かすことができる。これこそが戦争抗議運動が、ベトナム戦争時代に果たした実績である。「ベトナム戦争時代の音楽——トップ 14」 <http://happytunes.themusicfest.net/uncategorized/war-protest-music/>

そしてこれこそ、CIA が、アメリカのあらゆる有名なミュージシャンをコントロールすることを、これほど大きな使命と考えている理由である。これがまた、アメリカが 1975 年に東南アジアの戦場を放棄して以来、すべての憎悪すべき不法な戦争に対する、抗議がほとんどなかった理由でもある。確かに、勇敢なシンディ・シーハンは、ほとんど単独で、第 2 イラク戦争に抗議をした。そして反戦団体 Code Pink もまた、戦争が荒れ狂っているときに、彼らの仕事を見事にやっている。しかし、それ以外の者たちはどこへ行ったのか？

無断欠勤だ、みんな昼食に出て、だれもいなかったんだよ！

↓

↓



銃撃が始まると同時に
舞台を去る直前のジェ
イソン・オルディーン

そこで再び Jason Aldean に戻る。

ジェイソンは実に、回りを見回しもしないで舞台を去るとき、衝動か命令に従って行動しているように見える。

彼は、自分の歌を聞きにきた何千というファンたちに、警告しようとしなかった。

ジェイソンは明らかに、何かが、ひどく——甚だしく間違っているということを知っていた。ではなぜ彼は、少なくとも、彼の命のマイクで、SOS ぐらいは発しなかったのだろうか？

キーポイントは、Jason Aldean の現行の公演ツアーの名前が（今はキャンセルされたが）、

They Don't Know であることだ。

なるほど、マンダレー・ベイの前にいた人々は、確かに、10月1日の夕刻に何が起こるのを“知らなかった”。ほとんどの人々は、いまだに、この運命の晩に何が本当に起こったのか知らないでいる。JA は、我々の知らない何かを、知っているのだろうか？

これらの歌手は、彼らについている監視者や弁護士の命令に厳密に従わなければ、この世界でやっていくことはできない。音楽産業全体の監視システムの現行の仕組みは、特に、これら影響力の強い“役割モデル”や、声の大きい歌手が、ポリティカル・コレクトネス（政治的正しさ）の約束を、決して破らないようにするためにできている。なぜなら、そういうことが起これば、こうなるからだ：——「Kayne West が、トランプ支持の発言をした後、手錠をかけられ入院させられる」<http://stateofthenation2012.com/?p=57980>

もう一つ、ある本当に有名なミュージシャンが、繰り返し約束を破ったために、どういふことになったかを示す最近の例がある。おそらく、最も政治的に正しくなく、しかも音楽的には強力な、アメリカのシンガー・ソング・ライター、マルチ楽器奏者は、**プリンス**であろう。

「プリンスが今日、ケムトレールについて話した後、死んだ……イルミナティによる NWO 人口削減！」 <http://stateofthenation2012.com/?p=36394>

Prince の場合に、彼の医者が不法に危険な医薬を処方する普通のパターンで、これが彼の死因となった。このスローモーな犯罪は、プリンスがコントロールできず、したがって、グローバル・コントロール・マトリックスの指令する NWO アジェンダにとって、非常に危険だと認識した人々の犯罪だった。 <http://cosmicconvergence.org/?p=607>

「プリンス：アメリカの有名人は約束に違反することは絶対に許されない——絶対に！」 <http://stateofthenation2012.com/?p=36548>

ジェイソン・オルディーンと、彼の多くの宣伝道具仲間について言えば、あらゆる兆候から言って、彼が、他のあらゆる有名人と、全く同じ苦境に陥っていることがわかる。彼らは自分の言われたことをやっている——もし成功したければ。もししないと、彼らの契約は更新されない。あるいは、速やかに、よく知られたカリフォルニアのドラッグ・リハビリセンターに送り込まれる。場合によっては、彼の家族が後頭部に 3 発の銃弾を撃ち込まれて、突然、自殺する。

キーポイント：宣伝道具の歌手で、Josh Abbott Band のギタリスト Caleb Keeter が、ラスベガス銃撃の後で、「我々は銃規制が必要だ、直ちに必要だ」と宣言するのに、時間はかからなかった。あたかもそれをキッカケとするように、宣伝道具仲間の他の者たちもまた、何らかの形で銃規制を支持する、これまで例のない感情表現をやり始めた。彼らは決して、ちょっと立ち止まって、このような集団銃撃こそ、人々が自衛するために銃が必要な理由なのではないかと、考えてみることはなかった。なぜそう言うかといえば、警察は、ニセ旗攻撃のどんな現場にも、**決して**現れないからである。もしこれらのミュージシャンが、ベガスの虐殺が政府の指揮するブラック作戦で、“我々人民”から“修正第 2 条”（銃の所持を認める）を剥ぎ取るためだと知っていたら、彼らは石頭のリベラルのように反応したであろうか？ または、この暴露記事で述べたように、彼らの監視者の忠告で、簡単に自分の考えを変えるだろうか？

ほとんどの有名な歌手（と、有名になった俳優や、アイドル化されたプロ運動選手）は、その多くが高度にマインド・コントロールされたゾンビーで、良心をもたない者たちである。彼らは、悪名高い MK ウルトラ計画——CIA の現在のマインド・コントロール方法——による長引いたドラッグ使用によって、彼らをあやつる者の指令通りに行動している。実に、これら気の毒な人々の多くは、奴隷である。そして彼らは、自分が生涯、奴隷であることに気付いてさえいない。ただ「より高い力」だけが彼らを、イルミナティに対する奴隷身分から解放することができる。

結論

それでもなお、“我々人民” は今、金持ちで有名な人々を利用して、不当にアメリカのすべてに影響を与えさせている、“グローバル・コントロール・マトリックス” の全体構造に、気付いている。我々の多くは今、“有名人文化” と、それがアメリカ社会を、文字通りどのように破壊するのに用いられてきたかの、真の深さと幅を理解している。我々の中に、ほんの過去数年の間に、社会の組織そのものが修復できないほど引き裂かれたのを見たり、経験したりしていない人がいるだろうか？

認識の光が、極端に欺瞞的な有名人文化を照らすようになった以上、それを永久に引き倒すことは可能である。

「ボイコットが始まる：有名人文化の崩壊は今や不可避」

<http://stateofthenation2012.com/?p=84601>

行動に移ろうではないか！！

付注：

1966年に、流れに乗らない決意をした、もう一人の超有名な歌手がいた。彼のバンド仲間、ジョン・レノンが、ビートルズの名声を偶像破壊した、激しい反文化の人として、よりよく知られてはいるが、ポールもそうだった。次のリンクは、その秘密の裏話を提供している。

「ポール・マッカートニーは1966年11月に、実はどのように死んだのか？」

<http://stateofthenation2012.com/?p=12355>

——以上